市町村名	粟国村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	環境美化促進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章―3―(10)―ウ 持続可能で質の高い離島観光の振興
担当部課名	経済課		事業実施（予定）年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（1）
事業内容	魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地及び観光アクセス道路の美化・緑化活動を実施するとともに、外来植物の駆除を行う。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	26,410	38,220	45,516	45,845	46,467
	(b) 予算現額	23,556	33,329	45,516	38,964	41,943
	(c) 増減額 (b−a)	▲ 2,854	▲ 4,891	0	▲ 6,881	▲ 4,524
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計 (b+d)	23,556	33,329	45,516	38,964	41,943
B. 執行済額		20,342	32,194	37,465	36,983	40,996
うち交付金充当額		16,273	25,755	29,971	29,465	32,796
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		86.4%	96.6%	82.3%	94.9%	97.7%

予算の状況の説明：予算執行率が97.7%だった要因として、会計年度任用職員の欠勤や、共済費の過大積算、作業車の故障による燃料費の執行残などにより、不用額（947千円）が発生した。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
美化活動の実施 ①観光地：5箇所 ②アクセス道路：13路線 ③拝所：90箇所	目　標	観光地：5箇所 （アクセス路線：　） 13路線	観光地：5箇所 （アクセス路線：　） 13路線	観光地：5箇所 アクセス路線：13路線 （　） 拝所：90箇所	①5箇所 ②13路線 （　） ③90箇所
	実　績	観光地：5箇所 アクセス路線： 13路線	観光地：5箇所 アクセス路線： 13路線	観光地：5箇所 アクセス路線：13路線 拝所：90箇所	①5箇所 ②13路線 ③90箇所

達成状況説明：魅力的な景観地としての景観形成を図るため、観光地5箇所（大正池、ウーグ、東ヤマトゥガー、ヤヒジャ、洞寺公園）及びアクセス道路13路線、その他村内に点在する拝所において美化活動を実施し、目標を達成した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（　年度）
魅力的な観光地としての景観形成を図られたか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業の在り方について検証する。	目　標	（　）	（80%以上）	（80%以上）	（80%以上）	（　）
	実　績		100%	81%	59%	
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：本村の観光に関するアンケート調査の結果、「観光スポットについていかがでしたか」の質問に対し、「とても良かった」、「良かった」との回答が59%となっており、目標を達成することができなかった。

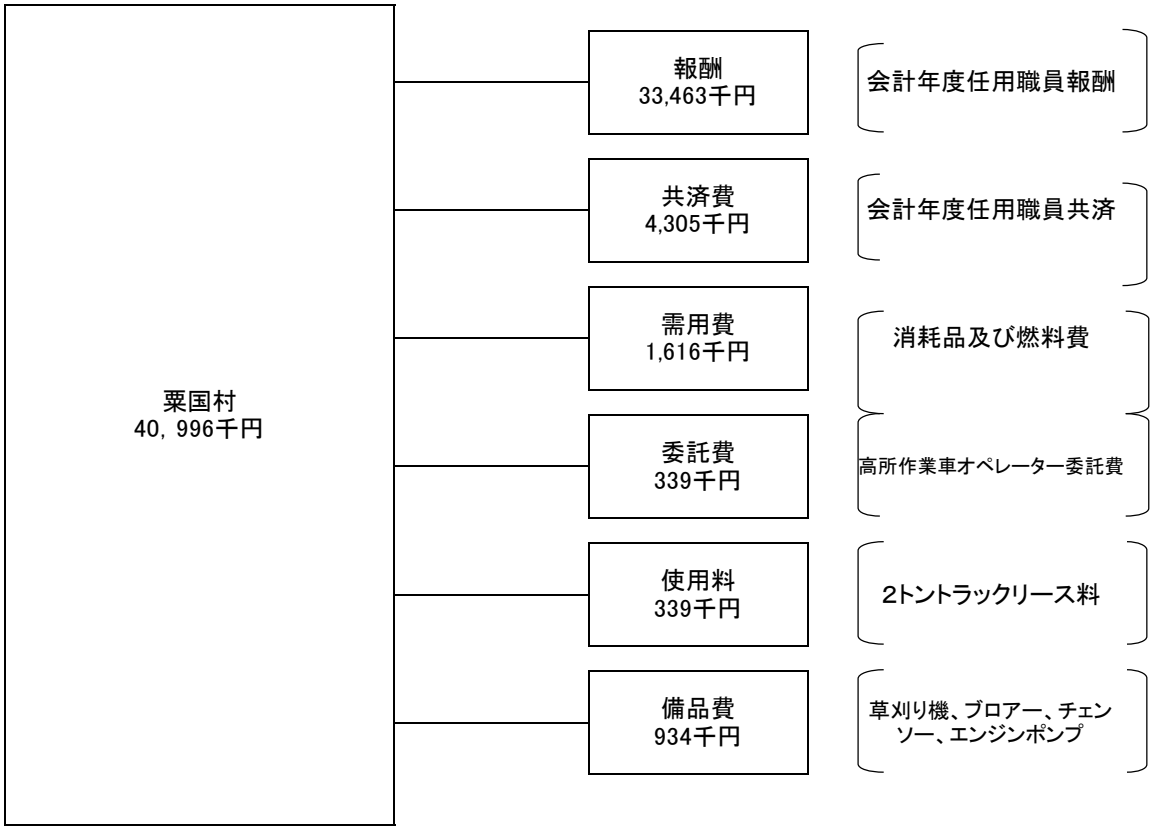
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	アンケートの回答結果に、「草刈りされていたが残草がそのままだった」との意見があり、現在刈った草木などを村私有地に仮置きしているため、見た目が悪く見えた。	仮置きしている草木などを早急に焼却する必要がある。

今後の取り組み方針

小型焼却炉を単費で購入し、草木を焼却する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
40,996	40,996	32,796	8,200	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員は公募により採用し、適正に支出されていることから妥当だと判断した。 ○業務は計画的に概ね執行していたので、予算規模は適正だったと考えている。 ○成果目標は未達であったが、費目・使途は事業目的に即して経費を支出していた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-②	粟国村「ア」のくにづくり推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第４章－３－（10）－ウ 「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進
担当部課名	経済課	事業実施（予定）年度	平成26年度～令和13年度（令和3年度中止）	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（1）

事業内容	観光プロモーション活動を通して、地域の伝統芸能の保存継承を図るとともに、認知度の向上及び観光誘客を図るため、粟国村「ア」のくにまつりの開催や観光PR活動及び広報周知活動を実施し、観光入客数増加及び定住の促進を目指す。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		H30年度	R1年度	R2年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	26,410	26,410	38,220	37,836	25,000
	(b) 予算現額	25,097	23,556	33,329	31,471	25,000
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,313	▲ 2,854	▲ 4,891	▲ 6,365	0
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計 (b+d)	25,097	23,556	33,329	31,471	25,000
B. 執行済額		18,649	20,342	32,194	31471	25,000
うち交付金充当額		14,918	16,273	25,755	25176	5,000
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率 （%） (B/A)		74.3%	86.4%	96.6%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		当初計画どおり執行を進めたため、執行率は１００%であった。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R1年度	R2年度	R4年度	R5年度
イベント開催：1回（2日間）	目　標	イベント開催 1回	（　）	（イベント開催 1回）	（イベント開催 1回）
	実　績	イベント開催 1回		イベント開催 1回	イベント開催 1回
広報周知活動（フェア出店）	目　標		（ブース設置 期間：6日）	（ブース設置 期間：3日）	（ブース設置 期間：3日）
	実　績		ブース設置 期間：9日	ブース設置 期間：0日	ブース設置 期間：3日

達成状況説明

地域の伝統芸能の保存継承と観光誘客を図るイベントとして、粟国島「ア」の国まつり（村内団体による芸能、ゲストライブ、カラオケ大会、打上花火等）を1回・2日間開催（10月14・15日）した。
ブース設置については、離島フェアに参加し、市町村ブースで3日間（11月24～26日）設置した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R1年度	R2年度	R4年度	R5年度
粟国島芸能：出演演舞者50人（むんじゅる節、むんじゅる太鼓、マースヤー、エイサー）	目　標	（　）	（30人）	（　）	（35人）	（50人）
	実　績		37人		47人	52人
イベント来場観光客数：112人（2日間）	目　標	（　）	（126人）	（　）	（94人）	（112人）
	実　績		10人		36人	145人
ブース設置：ブース来店者15，000人に観光PR用配布物を提供する。	目　標	（　）	（　）	（7，900人）	（15，000人）	（15，000人）
	実　績			4，000人	0人（未実施）	15，000人
・粟国村観光PR活動の実施	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（実施する）
	実　績					実施した

進捗状況説明

（粟国島芸能演舞者について）
粟国島芸能（むんじゅる節、マースヤー、エイサー）の出演演舞者は目標50人に対し、52人が出演し目標を達成した。
（イベント来場観光客数について）
イベントに来場した観光客数は目標112人に対し、145人の来場により目標を達成した。
（ブース設置について）
観光PRグッズ（ガイドブック、うちわ、手提げ袋）をブース来店者15，000人に配布し、目標を達成した。
（粟国村観光PR活動の実施について）
県内テレビ番組タイアップ企画として、沖縄テレビの「ぐしけんさん」でPRを行った。また、キャンプ系WEB媒体として、キャンプ・アウトドアメディアWebメディア「ハピキャン」でのPRや、Instagramインフルエンサープロモーションとして、県内で活動し、県内に多くのフォロワーを持つインフルエンサーとタイアップを実施した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（粟国島芸能演舞者について） 村内広報誌及び放送、掲示板に設置する等の告知を強化したことが目標達成の要因と考えられる。 （イベント来場観光客数について） 島外から来るまつりスタッフを公共施設で宿泊してもらうことにより、観光客が民宿に宿泊できるようになったことに加え、キャンプツアーを実施したことが目標達成の要因と考えられる。 （ブース設置について） 離島フェア開催中に、本村に興味を持っている方（15，000人）に、観光PRグッズを配布することができた。	（粟国島芸能演舞者について） 演舞者の参加人数増加について、演舞者と出演者の共演を図る工夫をする必要がある。 （イベント来場観光客数について） 観光客の増加について、周知の強化をする等の工夫をする必要がある。 （ブース設置について） 観光PRグッズを提供する等して、より効率の良い配布方法について検討する必要がある。

今後の取り組み方針

（粟国島芸能演舞者について）
演舞者とライブステージ出演者の共演をすることで、演舞者や観客がよりステージを楽しめるように取り組んでいく。

（イベント来場観光客数について）
仕様書等を通して委託先との成果目標の情報共有を行い、イベント来場観光客の増加に向け周知の強化を図っていく。

（ブース設置について）
本村の観光アンケートに回答してくれた方に、観光PRグッズを提供するなどし、効率よく配布できるようにする。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
25,000	25,000	20,000	5,000	

粟国村 25,000千円 → 委託料 25,000千円 → 丸正印刷株式会社 25,000千円

（粟国村「ア」のくにづくり推進事業委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は公募型プロポーザル方式により、企業組織・実績・知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模については、3社見積に基づいて適正に積算を行っている。 ○費用・使途について事業目的達成の観点から、必要なものなのか等について額の確定において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-③	ハブ対策事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－3－（2）－ア 「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進
担当部課名	民生課	事業実施（予定）年度	令和2年～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－（1）
事業内容	地域住民や観光客の安全確保のため、ハブの捕獲・駆除を行う。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
予算の状況	(a) 当初予算額	5,659	5,291	5,389	5,958	
	(b) 予算現額	3,107	5,291	5,389	6,327	
	(c) 増減額 (b−a)	▲ 2,552	0	0	369	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	
	A. 計 (b+d)	3,107	5,291	5,389	6,327	
	B. 執行済額	2,743	5,092	5,208	6,290	
	うち交付金充当額	2,195	4,073	4,166	5,032	
次年度繰越額		0	0	0	0	
執行率（%）(B/A)		88.3%	96.2%	96.6%	99.4%	

予算の状況の説明：会計年度職員の給与改定ががあったため予算増額対応し、執行率99.4%となった。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
作業員の配置	目　標	（　）	（　）	（3人）	（2人）
	実　績			2人	2人
捕獲器の設置・見廻り	目　標	（130台）	（130台）	（130台）	（130基）
	実　績	130台	130台	130台	130基
捕獲器の追加設置	目　標	（　）	（　）	（5基）	（30基）
	実　績			0基	30基

達成状況説明：
・当初の予定通り、作業員2名を配置し、ハブ咬傷被害が出ないよう事業を実施出来た。
・当初計画どおり130基設置できたことから目標を達成した。
・捕獲器の追加設置については、新たに30基購入し、集落内で目撃・発見された付近への設置や、これまで捕獲器を設置していない場所で、住民により捕獲や目撃があった場所へ設置を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（年度）
ハブ咬傷被害	目　標	（　）	（0件）	（0件）	（0件）	（　）
	実　績		0件	0件	0件	

進捗状況説明：年間を通しハブの捕獲・駆除を行い、また、村内放送や広報誌をとおして注意喚起を行ったこともあり、咬傷被害0件を達成することができた。

取組の検証

推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
（ハブ咬傷被害） 令和5年度のハブ捕獲数は263匹と前年度の152匹から大幅に増加しているが、集落内での目撃情報があった場所への捕獲器の設置やハブ対策条例の制定、広報誌や防災無線による注意喚起を行ったことが目標達成の要因と考	（ハブ咬傷被害） 村民のハブに対する知識、対策法及び対処法などが浸透していないため、ハブ対策講習会などを行い、住民の啓発を図る必要がある。

評価	
	えられる。

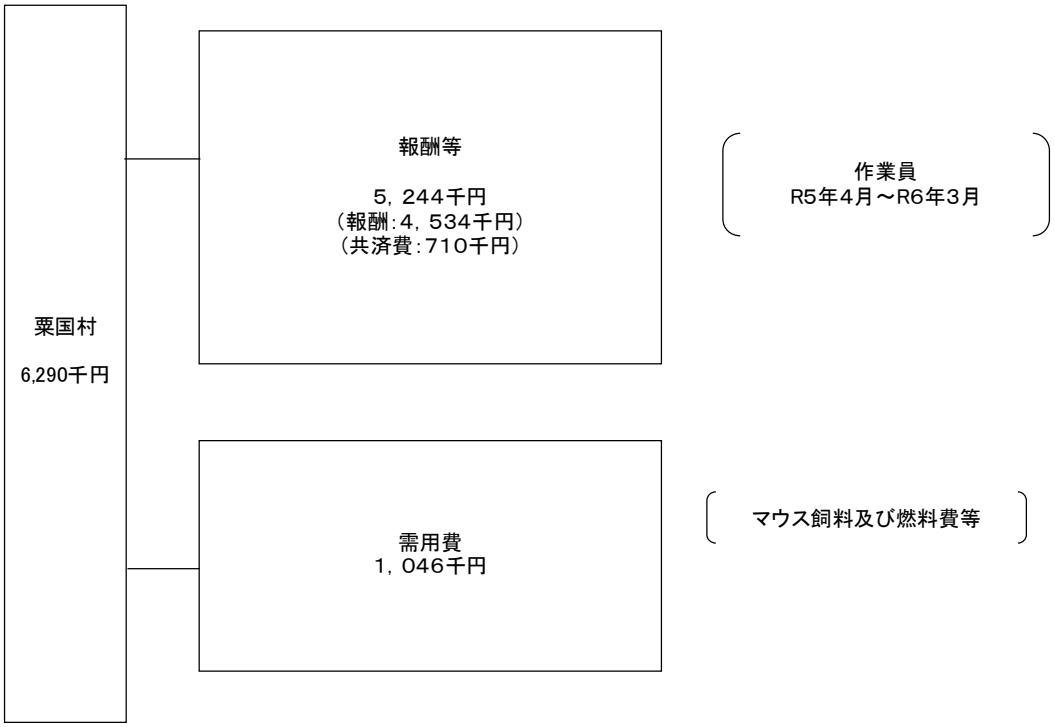
今後の取り組み方針

（ハブ咬傷被害）
・有識者からの見解を参考に、捕獲機の設置箇所を見直し効率的なハブの駆除を行う。
・住民向けのハブ対策講習会を実施し、啓発を図る。
・村内放送や広報誌をとおして、引き続き注意喚起を行う。
・除草作業や石垣の補修など、ハブが生息しづらい環境整備を行うよう周知する。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,290	6,290	5,032	1,258	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、村の規定に基づき会計年度任用職員として採用し、妥当であった。 ○予算規模については事業内容に見合った適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	国際交流支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-（3）-ア 国際感覚を身に付ける教育の推進
担当部課名	教育委員会	事業実施（予定）年度	平成27～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-（1）
事業内容	海外での生活体験を通して外国語への学習意欲の向上と豊かな国際性を身につけた人材を育成するため、本村中学生を対象に海外短期留学を実施する。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,940	2,926	6,106	6,118	6,730
	(b) 予算現額	1,713	0	0	0	4,181
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,227	▲ 2,926	▲ 6,106	▲ 6,118	▲ 2,549
	(d) 繰越額	0	0	0	0	
	A. 計 (b+d)	1,713	0	0	0	4,181
B. 執行済額		1,713	0	0	0	4,181
うち交付金充当額		1,370	0	0	0	3,345
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%

予算の状況の説明：当初10名派遣を計画していたが、実際6名の派遣となったため、2,549千円減額した。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
海外ホームステイ生徒派遣 10人	目　標	（5人）	（5人）	（5人）	（10人）
	実　績	0人	0人	0人	6人
報告書作成　20部	目　標	（20部）	（20部）	（20部）	（20部）
	実　績	0部	0部	0部	20部

達成状況説明：
・令和2年度から4年度については、コロナ禍の影響により事業実施ができなかったが、本年度はコロナ禍が明け事業実施することができた。また、派遣予定者10名に対し6名の応募があり、筆記試験並びに面接試験を実施した結果、全員合格となり、7月下旬から8月中旬にかけてアメリカ合衆国カリフォルニア州ランチョコルドバへ派遣した。
・応募人数が伸びなかった要因としては、生徒総人数の約7割程度を見込んで設定したが、英語検定を受験したことがない生徒の応募等がなかったため、異文化への関心が低かったと推測する。
・感想文やホームステイ実施内容等をとりまとめた報告書を受託者が作成し、学校集会及び学習発表会において生徒が成果発表を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（年度）
帰国後、派遣対象生徒へ「ホームステイ実施後、授業等への取組姿勢などが向上した」（80%以上）を含め、アンケートを取り本事業のあり方を検証する。	目　標	（　）	（80%以上）	（80%以上）	（80%以上）	（80%以上）
	実　績				100%	
英語検定受験者の増加（生徒の70%以上が受検）	目　標	（　）	（70%以上）	（70%以上）	（70%以上）	（70%以上）
	実　績				60%	

進捗状況説明：
（アンケート結果について）
・帰国後、派遣された生徒（6名）へアンケートを実施したところ、「ホームステイ実施後、授業等への取組姿勢などが向上した」との回答が100%となり、目標達成できた。
生徒の授業等への取組姿勢などが向上した・・・とても思う　2名　どちらかと言うとそう思う　4名
（英語検定受検受検者数の増加について）
英語検定の受験者については、生徒数15人中9人の受検で、受検率は60%となり目標を達成できなかった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（「授業等への取組姿勢などが向上したか」について） ホームステイに参加する生徒は、本村中学校の代表としての意識を持つことで、派遣前後の授業等への取組姿勢が向上したと考える。 （英語検定受検者数の増加について） 本事業への参加申請がなかった生徒へ異文化の関心や外国語への学習意欲の向上を図ることができなかったため、英語検定受験者の増加目標未達成の要因と考える。	（「授業等への取組姿勢などが向上したか」について） 次年度も引き続き学校代表として参加することを意識高揚を図り、授業等への取組姿勢の向上につなげたい。 （英語検定受検受検者数の増加について） ホームステイへ参加を検討する生徒のみならず、英語力向上のため村内生徒へ英語検定の受験の奨励・周知を図る。

今後の取り組み方針

本村の英検の受検料補助を活用して、生徒のスキルアップを図り、引き続き学校と連携を取りながら英検定受検を奨励すると共に周知を強化し、学習意欲の向上に繋げる。また、豊かな国際性を身につけた人材を育成するため、本村中学生を対象に短期海外留学ホームステイプログラム費用の補助を継続して実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,181	4,181	3,345	836	0

粟国村
4，181千円

→

委託料
4，181千円

→

(株)南日本カルチャーセンター
4，181千円

（国際交流支援事業業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定されており、妥当であった。 ○変更契約により、事業内容にあった規模に修正した。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から額の確定時において支出等に関する書類により確認を行い、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-②	学力向上支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-（1）-ウ
					公平な教育機会の確保と学習環境の充実
担当部課名	教育委員会	事業実施（予定）年度	平成27～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-（1）

事業内容	島内の児童生徒の学習環境の充実及び学力向上を図るため、村営塾を実施する。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	11,041	11,259	12,234	10,826	10,600
	(b) 予算現額	10,169	9,533	10,166	8,865	9,347
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 872	▲ 1,726	▲ 2,068	▲ 1,961	▲ 1,253
	(d) 繰越額	0	0	0	0	
	A. 計 (b+d)	10,169	9,533	10,166	8,865	9,347
B. 執行済額		8,226	8,123	7,959	8,459	7,855
うち交付金充当額		6,580	6,498	6,367	6,767	6,284
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		80.9%	85.2%	78.3%	95.4%	84.0%

予算の状況の説明：当初受講予定の対象児童生徒数に対し申込み者受講生が少なかった事や村行事及び部活動大会等により出席率が、伸びず不用額が発生したが、変更契約を行い対応した。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
5月から翌年3月まで月50コマの村営塾の実施	目　標	（月平均80コマ）	（月平均80コマ）	（月平均55コマ）	（月平均50コマ）
	実　績	月平均70コマ	月平均61コマ	月平均70コマ	月平均52コマ
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：村営塾を実施することで学校外での学習環境が整い、児童生徒の学びに対する意欲を向上することができた。
また、実績としては月平均52コマとなり目標を達成することができた。
5月開講に間に合わなかったが、総コマ数が574コマで平均（11か月）すると平均52コマとなる。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（年度）
沖縄県学力到達度調査での県平均値以上	目　標	（　）	（小：2P以上 中：3P以上）	（小：2P以上 中：3P以上）	（小・中共に県平均値以上）	（小・中共に県平均値以上）
	実　績		小：+1.05P 中：+1.1P	小：+0.8P 中：+0.3P	小：+1.7P 中：−0.73P	
対象児童生徒の「授業等への取組姿勢などが向上したか」（80%以上）を含め、アンケートを取り、本事業のあり方を検証する。	目　標	（　）	（　）	（　）	（80%以上）	（80%以上）
	実　績				54%	

進捗状況説明：沖縄県学力達成度調査の正答率について、小学校は目標達成できたが、中学生は目標を達成できなかった。
・小学校平均+1.7ポイント（県との差）
（内訳：小5・国語+0.5　小5・算数+1.7　小6・国語+2.3　小6・算数+2.3）
・中学校平均−0.73ポイント（県との差）
（内訳：中1・英語−2.9　中1・国語−1.8　中1・数学−1.4　中2・英語+2.6　中2・国語−1.0　中2・数学+0.1）

アンケート実施について、回答があった13名を基に算定した結果、目標を達成する事ができなかった。
・とてもそう思う（4名）、どちらかと言うとそう思う（3名）、どちらとも言えない（5名）、あまり思わない（1名）

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・出席率アップのための改善策を講じる必要がある。 ・沖縄県学力到達度調査において、成果目標を達成することができなかったため、均一的な授業だけでなく全体の底上げに繋がる取り組みを検討する必要がある。 ・業務の契約に時間を要したことから、学習塾の開講に遅れが生じた。	・村行事及び沖縄本島での部活動大会等により、塾に出席できなかった児童生徒が生じたため、学校側と塾及び教育委員会との情報共有を図り、塾授業日程等の調整を適宜行う。 ・個々の児童生徒の学力に応じた学習内容を検討し、基礎学力を定着させる工夫・改善をする。 ・速やかに業務の契約を締結できるように事務手続きを見直す。

今後の取り組み方針

・受講者数や出席率向上を図るため、引き続き広報誌等による募集案内を実施する他、チラシ等を作成し学校及び塾と連携し、受講していない児童生徒の保護者への定期的な案内等を行う。
また、村行事及び部活動大会等の日程について、関係機関と情報共有を図り、塾授業日程等の調整を適宜行う。

・定期テストの結果を分析し、基礎学力の定着させるための工夫・改善を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,945	7,855	6,284	1,571	90

粟国村
7，855千円

委託料
7，855千円

一般社団法人
教育振興会
7，855千円

アニー学力 アップ支援事業
業務委託

光熱費
交付対象外経費
90千円

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定されており、妥当であった。 ○受講生や出席率の減に伴い、変更契約により事業内容にあった規模に変更したが不用率は約16%となった。 ○費目・使途について、額の確定時において支出等に関する書類により確認を行い、適正であった。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-③	児童・生徒派遣事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-（1）-ウ
					公平な教育機会の確保と学習環境の充実
担当部課名	教育委員会	事業実施（予定）年度	平成25年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-（1）

事業内容	児童生徒に広い視野を持たせるため、指導者等を含め、島外で開催される大会等への運賃等の補助を行う。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	36,480	5,261	5,225	4,721	4,075
	(b) 予算現額	2,218	544	900	937	1,671
	(c) 増減額（b-a）	▲ 34,262	▲ 4,717	▲ 4,325	▲ 3,784	▲ 2,404
	(d) 繰越額	0	0	0	0	
	A. 計（b+d）	2,218	544	900	937	1,671
B. 執行済額		2,012	323	449	725	1,357
うち交付金充当額		1,609	258	359	580	1,085
次年度繰越額		0	0	0	0	
執行率（%）（B/A）		90.7%	59.4%	49.9%	77.4%	81.2%

予算の状況の説明：天候不良により渡航出来ず棄権した大会や予選敗退等により不用額が発生し、執行率は81.2%となった。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
児童生徒の島外の大会及び教育活動への参加の支援	目　標	（　支援　）	（　支援　）	（　支援　）	（　支援　）
	実　績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：コロナ禍前と同程度の児童生徒を派遣することができ、島外の人との競争や交流の場を増やし、広い視野を持たせることができた。
R5年度実施数・・・162名（児童・生徒136名・指導者等26名）

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（年度）
対象児童生徒及び保護者に対してアンケートを取り、児童生徒の視野が広がったか（80%以上）を含め、本事業のあり方を検証する。	目　標	（　）	（80%以上）	（80%以上）	（80%以上）	（　）
	実　績		92%	100%	100%	
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：対象の児童生徒及び保護者に対し、アンケートを実施したところ『児童生徒の視野が広がったか』の問いに対し、「とても思う」、「どちらかというとそう思う」、の回答が合わせて100%となり、目標を達成した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（「児童生徒の視野が広がったか」について） 派遣費補助を行うことによって保護者の負担が軽減され、各種大会等への参加することによって、島外の人との競争や交流の場を増やし児童生徒にとって様々な経験を積むことにより児童生徒の視野が広がったと思われる。 （大会への参加機会の確保について） 悪天候時のフェリー欠航により、派遣予定の大会に参加できない場合がある。	（「児童生徒の視野が広がったか」について） 継続して目標を達成するため、各種大会への参加機会を確保する。 （大会への参加機会の確保について） 悪天候が予想される場合は、前倒しの出発や飛行機等を利用するなどの対応ができるか学校及びPTAで迅速に協議し、可能な限り開催される大会等への参加機会が確保されるよう配慮する。

今後の取り組み方針

（「児童生徒の視野が広がったか」について）
今後も児童生徒に様々な経験を積んでもらうことなどを目的に、旅費の補助による保護者の負担軽減を図り、児童生徒の各種大会等への参加機会を確保する。

（大会への参加機会の確保について）
フェリー欠航が予想される場合は事前出発を含め、前泊・後泊対応が可能か学校及び保護者と協議し、可能な限り島外で開催される大会等への参加機会が確保されるよう努める。また、前泊・後泊による授業出席数の減少に対応するため、放課後授業等の実施が可能かを併せて学校と協議する。
移動手段については、悪天候が予測される際は、飛行機等での移動が可能かについて検討を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,357	1,357	1,085	272	0

粟国村
1，357千円

→

補助金
1，357千円

→

粟国小中学校
（児童・生徒・引率）
1，357千円

（**児童生徒派遣費補助金**）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先について、粟国村児童生徒派遣費補助金交付要綱に基づき、粟国小中学校を通して児童・生徒に間接的に補助する形態であり妥当である。 ○悪天候等により渡航出来ず大会等を棄権したことにより、不用率は約19%となった。 ○受益者との負担関係は粟国村児童生徒派遣費補助金交付要綱に基づき妥当であった。 ○費目、使途については粟国村児童生徒派遣費補助金要綱に基づき支給していることや、精算時において支出等に関する書類により確認しており、適正と判断した。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-①	粟国村交流人口航空運賃コスト負担軽減事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－3－（2）－エ
担当部課名	総務課	事業実施（予定）年度	令和３年度～令和１３年度		観光客の受入体制の整備
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－９－２

事業内容	粟国村へ来訪する人の渡航費負担を軽減させ、観光入域者数の増加を図るため、航空事業者が観光客等に対して運賃を割り引いて販売した際の差額分を補助する。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R3年度	R4年度	R5年度		
予算の状況	(a) 当初予算額	6,710	31,732	31,732		
	(b) 予算現額	2,956	3,727	3,132		
	(c) 増減額 (b−a)	▲ 3,754	▲ 28,005	▲ 28,600		
	(d) 繰越額	0	0	0		
	A. 計 (b+d)	2,956	3,727	3,132		
B. 執行済額		2,128	3,796	4,526		
うち交付金充当額		1,702	3,037	3,621		
次年度繰越額		0	0	0		
執行率（%）(B/A)		72.0%	101.9%	144.5%		
予算の状況の説明		新型コロナウィルス感染症の影響が残り予算減が生じたが、予定通り事業を実施することができたことから、執行率は100%以上となった。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R3年度	R4年度	R5年度	
交流人口を対象とした航空運賃割引の実施	目　標	（航空運賃の補助）	（航空運賃の補助）	（航空運賃の補助）	
	実　績	実施	実施	実施	
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	令和5年4月1日～令和6年3月23日の期間に、合計758人の航空運賃の補助を実施した。 ※交流人口とは、島民以外の人で粟国村を訪れる人のことを指し、レジャー目的旅行者の他、ビジネス客等も含んでいる。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（年度）
粟国村への観光入域者数	目　標	（　）	（2，900人）	（3，300人）	（3，300人）	（　）
	実　績		980人	2，077人	2，967人	

進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響が未だ残っており、来島者数に影響したため、目標を達成することができなかった。

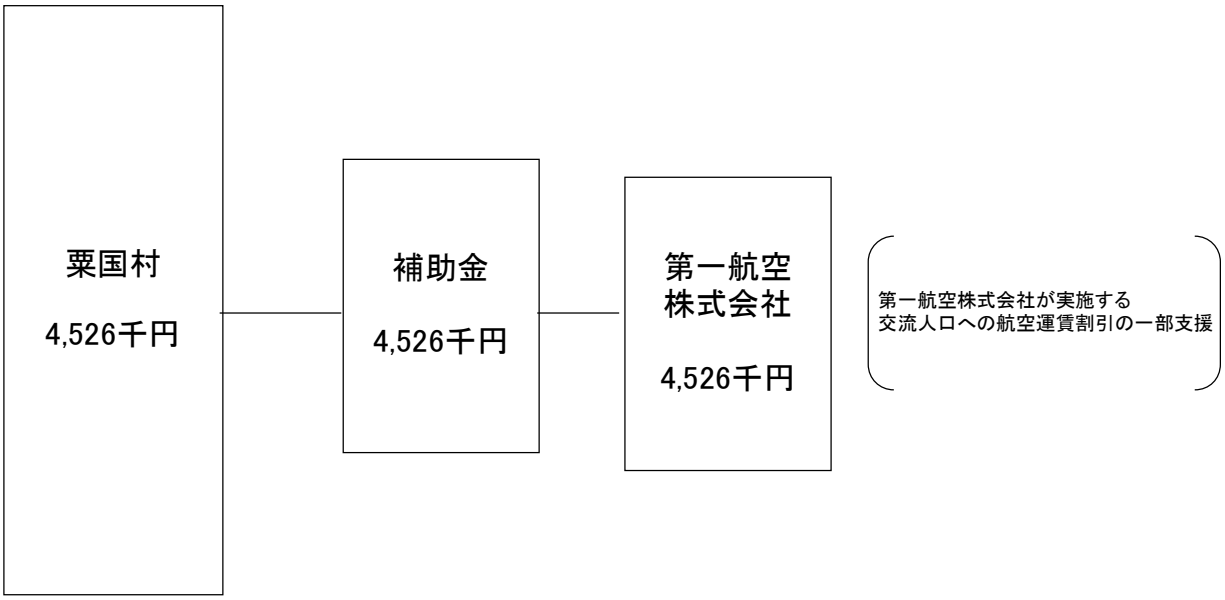
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	新型コロナウイルスの影響が残り、粟国村への入域者に影響したため、目標を達成することができなかった。	飛行機利用率が増加傾向にあるが、今以上の増加に向けて広報誌や村HPを活用した、観光PRを実施する。

今後の取り組み方針

観光関連機関等と連携し、粟国村の知名度向上に向けて、今以上の観光等PRを実施していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,526	4,526	3,621	905	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法について、粟国村と沖縄本島を結ぶ航空会社は1社のみであり、費用負担の協定書を締結していることから、妥当であった。 ○新型コロナウイルス等の影響により搭乗者数が伸びず事業費の減額が生じた ○受益者負担については、「粟国村交流人口航空運賃コスト負担軽減事業に係わる協定書」により受託者負担を4割、村負担3割であるので妥当と考える（県負担3割） ○費目、使途については、事業目的の観点から清算時に精査しており、適正であった。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-②	粟国村自動車航送運賃低減化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－2－（7）－イ
					快適な生活環境の形成
担当部課名	船舶課	事業実施（予定）年度	令和2年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－9－(2)
事業内容	離島の不利性を解消し定住環境の改善を図るため、粟国・那覇間の自動車航送運賃の低減を目的に半額を補助する。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
予算の状況	(a) 当初予算額	35,234	11,391	11,399	11,399	
	(b) 予算現額	5,301	9,080	10,288	13,764	
	(c) 増減額（b－a）	▲ 29,933	▲ 2,311	▲ 1,111	2,365	
	(d) 繰越額	0	0	0		
	A. 計（b+d）	5,301	9,080	10,288	13,764	
B. 執行済額		3,441	9,080	10,518	13,622	
うち交付金充当額		2,752	7,263	8,414	10,897	
次年度繰越額		0	0	0		
執行率（%）（B/A）		64.9%	100.0%	102.2%	99.0%	
予算の状況の説明		当初は過去実績を元に利用台数を設定していたが、新型コロナウイルス感染症対策による渡航自粛等の緩和の影響により、利用実績が想定を上回り、執行済額が昨年度比3,104千円増となり、最終執行率は99.0%となった。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
自動車航送運賃を低減するための支援実施	目　標	（　負担の軽減　）	（　負担の軽減　）	（　負担の軽減　）	（　負担の軽減　）
	実　績	実施	実施	実施	実施
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：本村と沖縄本島を結ぶフェリーの車両航送運賃（往復分）の補助を行ったことで、本島へ移動しやすい環境を構築することができ、定住環境の改善・村民の渡航における負担を軽減することができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（　年度）
運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい環境となっているか（80%以上）を含め、利用者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目　標	（　　）	（　80%　）	（　80%　）	（　80%　）	（　　）
	実　績		87%	83%	83%	

進捗状況説明：令和5年9月から11月の間、利用者及び村民を対象にアンケートを実施し、83%が肯定的な意見となっていたため、目標を達成できた。
（アンケート結果）
本事業に満足していますか。
満足している・・・・・83%
満足していない・・・0%
どちらでもない・・・17%

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	新型コロナウイルス感染症対策による渡航自粛等の緩和により、成果目標を達成した。	引き続き感染症に対する消毒の徹底、マスク着用等を促しつつ、船舶内部にコーティングを行うなどの対策を実施し、安心して乗船できる船舶を目指す。

今後の取り組み方針

新型コロナウイルスの規制緩和の影響により、今後利用客数は増加すると思われるので、船内清掃の強化徹底や新しい感染症対策用機器の導入を検討するなど、さまざまな感染症に対し安心安全に乗船できる船舶を目指すことで、本島へ移動しやすい環境づくりに取組む。また、利用者に対するアンケート内容の不十分な点を改善し、満足度の向上に務める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
27,244	13,622	10,897	2,725	13,622

粟国村

令和5年4月～令和6年3月

交付対象事業費
13,622千円

粟国村
（航路運航事業特別会計）

令和5年4月～令和6年3月

●交付対象事業費（助成金繰出金）13,622千円
1台あたり（チケット代×台数）
3m～4m（14,130円×808台≒11,417千円）
4m～5m（18,850円×117台≒　2,205千円）

（自動車航送運賃往復代に対する運賃の一部支援）

●交付対象外経費（受益者負担分）13,622千円
1台あたり（チケット代×台数）
3m～4m（14,130円×808台≒11,417千円）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○船舶航路事業特別会計において、自動車航送券の発券及び集計をしており、支払先は妥当だと考えられる。 ○予算規模については増額補正があったものの適正規模と考える ○約5割を受益者が負担していることから妥当だと考える。 ○費用・使途について、確定時において支出等に関する書類により確認し適当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-③	粟国村墓地周辺環境整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(5)-イ 沖縄の歴史と景観に配慮した千年悠久のまちづくり
担当部課名	民生課	事業実施（予定）年度	令和４年度 ～ 令和７年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9-(2)

事業内容	伝統的な墓地を次世代に継承するため、景観形成及び環境保全を目的とした墓地通路及び手すり等の整備を行う。
効果発現年度	□当年度　■後年度（令和8年度）
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R4年度	R5年度			
予算の状況	(a) 当初予算額	2,500	14,715			
	(b) 予算現額	1,980	8,580			
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 520	▲ 6,135			
	(d) 繰越額	0	0			
	A. 計 (b+d)	1,980	8,580			
B. 執行済額		1,980	5,148			
うち交付金充当額		1,584	4,118			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	60.0%			

予算の状況の説明

当初、基本設計及び実施設計を予定していたが、基地の特殊性に配慮する必要があること並びに住民生活に影響する事業であり、丁寧に調整を進める必要があることから、今年度は実施設計の策定しないこととし、入札残による事業費6,135千円を減額した。
不用額3,432千円については、住民への聞き取り、住民説明会での意見や意向を踏まえ、当初予定していた整備範囲に変更があり、その部分の業務費減によるものである。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
粟国村墓地周辺環境整備の基本計画の策定	目　標	（基本計画策定）			
	実　績	基本計画策定			
粟国村墓地周辺環境整備の基本設計を完了する。	目　標	（　）	（基本設計策定）		
	実　績		基本設計策定		

達成状況説明

高齢者及び地域住民の誰もが行きやすく、安心安全に埋葬・収蔵されるよう墓地通路及び手すり等を整備するための、「粟国村墓地周辺環境整備の基本設計」を策定し、目標を達成した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（R8年度）
粟国村墓地周辺環境整備の基本計画の完了	目　標	（　）	（基本計画完了）			（　）
	実　績		基本計画完了			
粟国村墓地周辺環境整備の基本設計の完了	目　標	（　）		（基本設計完了）		（　）
	実　績			基本設計完了		
【参考指標】墓利用者へのアンケートにて「粟国島らしい景観で安全で利用しやすい環境整備がなされた」の回答が80%以上	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（80%以上）
	実　績					

進捗状況説明

高齢者及び地域住民の誰もが行きやすく、安心安全に埋葬・収蔵されるよう墓地通路及び手すり等を整備するための、「粟国村墓地周辺環境整備の基本設計」が完了し、目標を達成した。

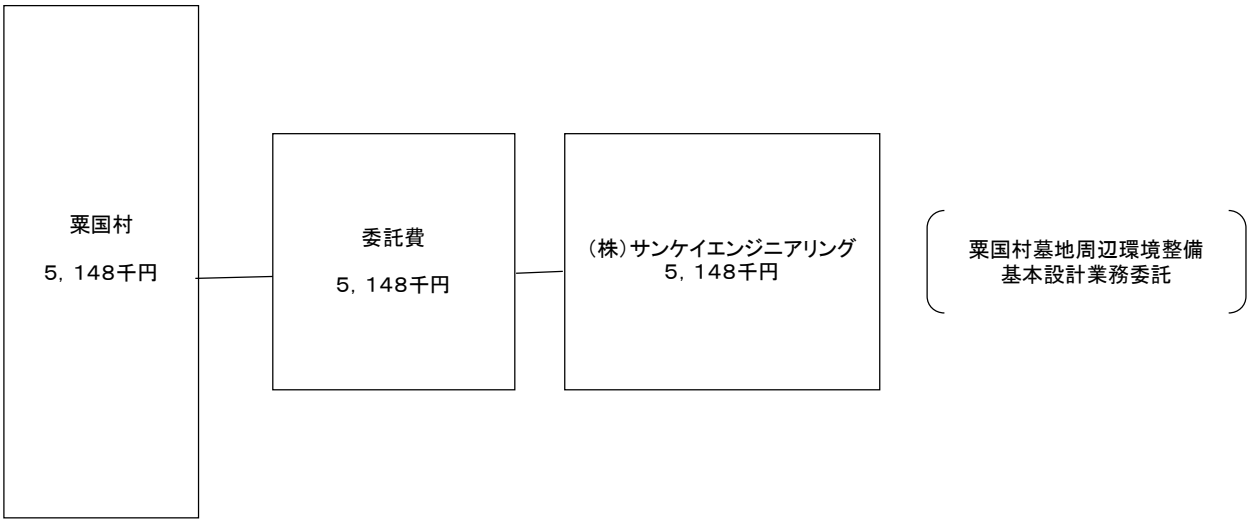
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（粟国村墓地周辺環境整備の基本設計の完了） 前年度策定の「粟国村墓地周辺環境整備基本計画」をもとに、さらに、住民への聞き取り、住民説明会を実施し、住民の意向を踏まえた「粟国村墓地周辺環境整備の基本設計」を完了できた。 （実施設計完了について） 当初は実施設計の策定まで予定していたが、村民全体に係る事業であり、伝統、信仰及び精神的な面に係る墓地という特殊性に配慮する必要があるほか、「先祖崇拝」の信仰が根強い当村においては、住民に対し十分な説明及び意見や意向を聞き取りを行うなど、特に慎重に事業を進める必要があると判断し、今年度は基本設計のみとした。	（基本設計の完了後の実施設計策定に向けて） 利用者には高齢者も多いため、手摺や滑り止めなどの素材や材質等は、安全で利用しやすいモノを選定し環境整備を行う。

今後の取り組み方針

（粟国村墓地周辺環境整備の実施設計の完了）
実施設計を円滑に完了させるため、受託者との調整を密にし、住民の意向に沿えるよう実施設計を行っていく予定である。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,148	5,148	4,118	1,030	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、当初計画から見直しがあり入札残を減額対応したが、住民説明会後に最終的な整備範囲を確定し、その部分の事業費減が発生したため不用額40%となった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-④	粟国村交通移動手段低減化対策事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(7)-イ 快適な生活環境の形成
担当部課名	船舶課	事業実施（予定）年度	令和5年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9-(2)
事業内容	本村への来島者の利便性の確保及び島民との交流増加を図るため、那覇泊港発フェリーの往復運賃を一部補助する。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R5年度				
予算の状況	(a) 当初予算額	11,014				
	(b) 予算現額	15,321				
	(c) 増減額 (b-a)	4,307				
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	15,321				
B. 執行済額		15,487				
うち交付金充当額		12,390				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		101.1%				
予算の状況の説明		当初、大人5500人、小人180人としていた目標値を、第3回変更（12月）において大人7,525人、小人321人とし、増額補正したが、実績はさらに上回った。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R5年度			
那覇泊港～粟国港間の乗船運賃を一部補助	目　標	（　負担軽減　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	実施			
【参考指標】 計画数を達成する。	目　標	大人5500人、小人180人	（　　）	（　　）	
	実　績	大人7,708人、小人306人			
達成状況説明	乗船運賃を一部補助することで、当初見込んでいた人数を大幅に超過する利用があった。				

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R5年度			目標値（　年度）
アンケートにおいて満足度を80%以上とする	目　標	（　　）	（　80%　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		98%			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					
進捗状況説明	アンケートの結果、目標の80%を超える方に満足いただけたが、「どちらでもない」という意見については今後の対応策を検討する。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	アンケートにおける「Q1この事業を知っていたか」、「Q2島に行きやすくなったか」という設問において、島出身者からは、「概ね知っていた」あるいは「行きやすくなった」という回答が大半を占めていたが、ビジネスや観光を目的とする来島者にはあまり浸透していないことが分かった。特にビジネス目的の来島者は、「Q3事業の継続を希望しますか」「Q5本事業に満足していますか」の両設問においても「わからない」あるいは「どちらでもない」という意見が一定数あり、ビジネス目的の来島がリピートに繋がっていないことが分かった。	アンケートを継続し、R5年度で課題となったビジネス目的や観光目的の来島者への認知度を上げる対策が必要で、村HPはじめメディアの活用も積極的に行う。アンケートでの設問「Q4本事業による効果を期待したい分野は何ですか」では観光での知名度UPが大半を占めたが、移住目的への期待や農産業振興に繋がるビジネス目的への期待もあり、関係部署との認識を共有して施策につなげたい。

今後の取り組み方針

ビジネス目的や観光目的への認知度を上げる対策を進めるほか、アンケートでの設問「Q4本事業による効果を期待したい分野は何ですか」で、大半が観光での知名度UPだったが移住目的への期待や農産業振興に繋がるビジネス目的への期待もあったので、関係部署との認識を共有して施策につなげる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,487	15,487	12,390	3,097	0

粟国村
（一般会計）

令和5年4月～令和6年3月

交付対象事業費

粟国村
（航路事業特別会計）

令和5年4月～令和6年3月

●交付対象事業費
大人7,780人×1,970円＝15,184,760円
小人306人×990円=302,940円
合計15,487千円

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○航路事業において旅客運賃を発券しており集計もしているので、支払先は妥当と考える。 ○予算規模については、利用者数に即したもので妥当と考える。 ○実質の受益者負担は7割であるので妥当と考える。 ○運賃の軽減が交流人口増に繋がっており、目的に沿ったものと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－⑤	離島航空路チャーター運航支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	４－３－（７）－ア
					快適な生活環境の形成
担当部課名	総務課	事業実施（予定）年度	令和５年度～令和１３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－９－（２）
事業内容	離島住民の交通手段である離島航空路を確保・維持することにより、離島の定住条件の整備を図るため、チャーター便の運航に伴い生じた欠損額に対して補助する。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R5年度				
予算の状況	(a) 当初予算額	66,967				
	(b) 予算現額	63,015				
	(c) 増減額 (b−a)	▲ 3,952				
	(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	63,015				
B. 執行済額		63,015				
うち交付金充当額		50,412				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		実績に基づき、減額補正があったものの、欠損額に対する補助を予定通りに執行できたので、執行率は100%となった。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R5年度			
那覇・粟国間のチャーター運航(離島の生活路線)に対する欠損補助	目　標	（　欠損補助　）			
	実　績	欠損補助			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				
達成状況説明	チャーター運航に関する欠損に対して補助を行った。				

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R5年度			目標値（　年度）
那覇↔粟国間航空路線の確保・維持	目　標	（　　）	（確保・維持）	（　　）		（　　）
	実　績		確保、維持			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					
進捗状況説明	チャーター運航に対する欠損補助を行い、那覇⇔粟国間の航空路線を確保、維持できた。					

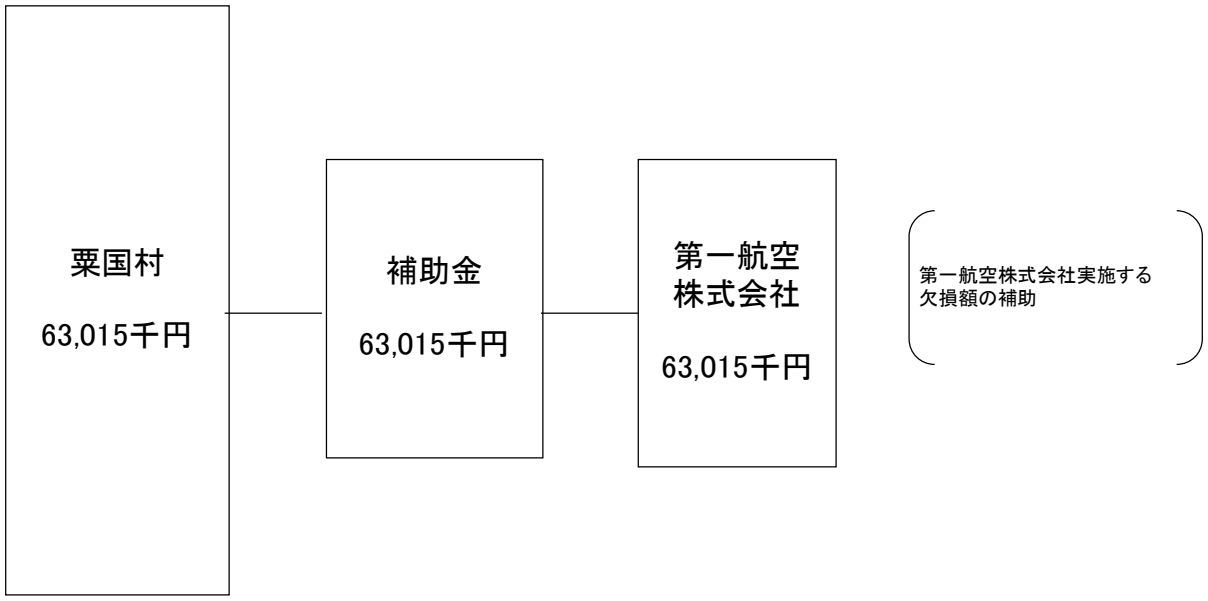
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	チャーター運航に対する欠損補助を行い、那覇⇔粟国間の航空路線を確保、維持できた。	更なる航空機の利用率増加に向けての取り組みが必要である。

今後の取り組み方針

観光関係機関等と連携し、粟国村の知名度向上に向けて広報誌及び粟国村HPを活用してPRしていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
63,015	63,015	50,412	12,603	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については粟国村と沖縄本島を結ぶ航空会社は1社であり、かつ、費用負担の協定書を締結していることから妥当である。 ○実績に基づき事業費を減額しており、不用額を発生させることなく執行できたため、適正規模と判断した。 ○粟国・那覇間航空路チャーター運航支援事業補助金交付要綱及び離島航空路チャター運航支援事業補助金交付要綱に基づいた負担としているため、妥当と判断した。 ○費目、使途については、事業目的の観点から清算時に精査しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-①	和牛改良支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア
担当部課名	経済課	事業実施（予定）年度	平成25年度～令和8年度		おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-6

事業内容	本村畜産業支援のため、付加価値の高い子牛の生産ができるよう県内外から母牛となる素牛としての優良雌子牛の導入を支援して畜産業の振興を図る。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		H26年度	H27年度	H28年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,000	4,500	4,000	10,000	5,000
	(b) 予算現額	3,000	4,500	4,000	5,000	1,200
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	▲ 5,000	▲ 3,800
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計 (b+d)	3,000	4,500	4,000	5,000	1,200
B. 執行済額		3,000	2,400	3,882	2,364	0
うち交付金充当額		2,400	1,920	3,105	1,182	0
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		100.0%	53.3%	97.1%	47.3%	0.0%

予算の状況の説明：当初10頭（セリ購入（税抜き）1,000千円＊10頭）の導入を予定していたが、セリ価格の下落及び購入予定頭数の減により1,200千円に減額。
年度末のセリで、2頭の導入（セリ購入（税抜き）600千円＊2頭）予定だったが、物価高騰により畜産農家の収入が減となり、優良雌子牛が購入できなかったため、1,200千円が不要となった。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
優良雌子牛導入	目　標	（15頭）	（10頭）	（10頭）	（10頭）
	実　績	8頭	10頭	4頭	0頭
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：物価高騰による飼料代等高騰とセリ価格の下落に伴い、畜産農家の収入が減となり、当初計画通りに導入することができなかった。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（　年度）
優良雌子牛導入	目　標	（　）	（10頭）	（10頭）	（10頭）	（　）
	実　績		10頭	4頭	0頭	
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：物価高騰による飼料代等高騰とセリ価格の下落に伴い、畜産農家の収入が減となり、当初計画通りに導入することができなかった。

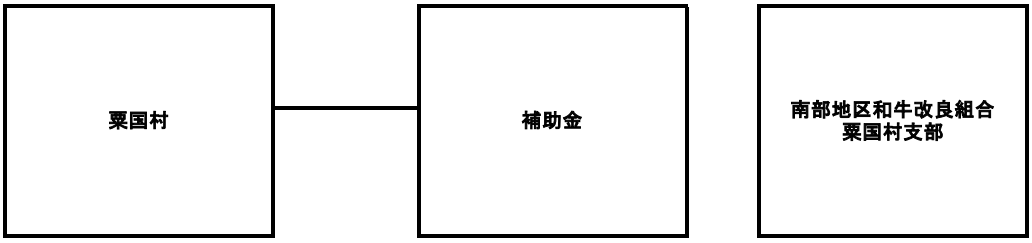
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	飼料代等の物価高騰の影響と雌牛購入による生産コストの増加、セリ価格の下落に伴い、畜産農家の収入が減となり、農家の雌牛導入が進まなかったと考えられる	飼料代等の物価高騰に対し、県や国の補助事業やJA等を活用し積極的に支援を強化していく。 対象牛の年齢を引き上げることで、生産コストの削減に繋げていく。

今後の取り組み方針

現在の県・国の補助だけでは支援不足である為、JAと連携し県・国に対し補助金増加等の支援策強化に向け、引き続き調整していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
0	0	0	0	0



【和牛改良支援事業補助金】

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○村の補助金関係の要綱に伴い選定されており、妥当である。 ○予算規模については、セリ価格の下落及び購入予定頭数の減により、事業費の減額が生じた。 ○受益者は、導入経費の2分の1を負担しているため、妥当。 ○費目・使途については、例年、額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、必要事項に限定して支出している。
	×	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	粟国村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-②	粟国島農業活性化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－3－（10）－（ア） 離島ごとの環境・特性を生かした農林水産業の振興
担当部課名	経済課	事業実施（予定）年度	令和5年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－（6）
事業内容	干ばつ時の灌水対策や台風通過後の塩害対策に向けた散水車両の導入（4t散水車2台のリース）により、離島地域の経済を支えているさとうきびの増産に向けた取組を推進する。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R5年度				
予算の状況	(a) 当初予算額	6,237				
	(b) 予算現額	4,379				
	(c) 増減額（b－a）	▲ 1,858				
	(d) 繰越額	0				
	A. 計（b+d）	4,379				
B. 執行済額		4,299				
うち交付金充当額		3,440				
次年度繰越額		0				
執行率（%）（B/A）		98.2%				
予算の状況の説明		リース期間を短くしたことにより、執行率が98.2%となった。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R5年度			
4t散水車輌リース	目　標	（　2台　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	2台			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	当初予定通り、散水車を2台リースすることができた。				

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R5年度			目標値（　年度）
サトウキビ収穫量	目　標	（　）	（ 1,890トン ）	（　）	（　）	（　）
	実　績		1,462トン			
もちきび収穫量	目　標	（　）	（ 3,175kg ）	（　）	（　）	（　）
	実　績		81kg			
進捗状況説明	干ばつの影響により、サトウキビについては若干収穫量に影響が出た。もちきびについては、台風及び害虫被害により収穫がほぼ全滅した。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	サトウキビについては、導入した散水車の効果もあり、目標未達ながらも干ばつの影響を最小限に抑えることができた。 もちきびについては、干ばつの影響を抑えることができたものの、台風や害虫被害の影響が目標未達の原因と考えられる。	干ばつの影響をさらに抑えるため、散水車の使用頻度を高めていく。

今後の取り組み方針

今後も干ばつが予測されるため、散水車を導入することにより干ばつ対策を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,299	4,299	3,439	860	0

粟国村
4,299千円

使用料及び賃借料
4，188千円
〔 散水車 リース料 〕

役務費
111千円
〔車両運搬（フェリー）〕

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○リース業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模について、リース期間が短くなったため不用額が31.1%となった。 ○散水車の使用により干ばつの影響を抑えることができたため、目的に即し真に必要なものと考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	